

G 7 ドーヴィル・パートナーシップ第 2 回高級実務者会合の開催

平成 2 8 年 1 1 月 2 2 日

中東第一課

- 1 1 1 月 2 2 日，我が国議長の下，G 7 ドーヴィル・パートナーシップ（D P）の第 2 回高級実務者会合がバルセロナで開催された。本会合は，地中海連合（the Secretariat of the Union for Mediterranean）が主催した。
- 2 同会合は，本年 3 月に東京で開催された第 1 回会合のフォローアップとして実施され，G 7，アラブ移行諸国，地域パートナー諸国，国際機関の代表が参加し，アラブ諸国の経済社会改革の努力を支援するためのこれまでの取組や今後必要となる具体的方策を議論した。
- 3 会合では，引き続き関係国が D P を通じてアラブ移行諸国への必要な支援を協議していくことが確認され，経済ガバナンスに関するコンパクトを今後の D P において継続実施していくことが確認された。また，中小企業（SME）支援の重要性や女性の社会進出の促進を含む今後の D P の在り方などが議論された。
- 4 中東・北アフリカ (MENA) の民主化移行の取組を支援するための基金（MENA 移行基金）の目標額である 250 百万ドルが G7 各国の資金拠出により達成され，日本の議長下での大きな成果となった。

【参考 1：ドーヴィル・パートナーシップ概要】

（１）G 7 ドーヴィル・パートナーシップは，2 0 1 1 年初頭から本格化したいわゆる「アラブの春」を受け，2 0 1 1 年 5 月のドーヴィル・サミットにおいて，アラブ諸国における安定的な民主的体制への移行と経済社会改革の努力を支援する枠組みとして設立。国際金融機関や国連機関等に対して協調を呼びかけるとともに，移行国に対する二国間援助の強化，貿易・投資促進，域内統合支援，人的交流等を謳った「アラブの春に関する G 8 宣言」を採択。2016 年は日本が議長国。

（２）参加国・機関：G 7，アラブ移行諸国（エジプト，モロッコ，チュニジア，ヨルダン，リビア，イエメン），地域パートナー諸国（サウジアラビア，トルコ，U A E，カタール，クウェート），国際機関（O E C D 等）

【参考 2：成果文書（議長サマリー）概要】

- （１） 日本は、2016 年の議長下での取組をレビューし、G7、地域パートナー、関連の国際機関が DP の枠組みで対話と協力を継続していくことの重要性を強調。
- （２） アラブ移行諸国（ACTs）のニーズを汲み取ることの必要性に鑑み、2015 年のドイツ議長下で立ち上がった経済ガバナンスに関するコンパクトの実施を継続して取り組んでいくことの重要性を強調。
- （３） 今後の DP の重要な柱の一つとして、ACTs における中小零細企業支援の促進が重要であることを確認。
- （４） 日本は、本年 12 月 12 日に東京で開催される女性の政治・経済・社会的役割の推進に関する国際シンポジウムを開催することを表明。イタリアは、2017 年の議長下での取組を説明。
- （５） MENA 移行基金の重要性が強調され、イタリアが同基金への新規拠出を決定したことが歓迎された。また、フランス、ドイツ、米国、日本が追加の拠出を決定したことが評価され、同基金は目標額の 250 百万ドルに達した。

（了）